



＼ 未来の赤ちゃんのために社会全体で /

風しんにさよならを。

風しんにかかるのはこどもだけではありません。

もし、あなたが妊娠中の女性に風しんをうつしてしまうと生まれてくる赤ちゃんが、

耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気があるなど

「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

あなたはいつ、予防接種を受けたか覚えていますか？

予防接種が必要かどうかわからない方は**抗体検査を受けましょう。**

検査の結果、抗体がない場合には、未来の赤ちゃんのために

予防接種を検討してください。

九都県市首脳会議

防災・危機管理対策委員会

新型インフルエンザ等感染症対策検討部会

ホームページ <http://www.9tokenshi-bousai.jp/influenza/>

詳しくは
こちらへ



埼玉県 | 千葉県 | 東京都 | 神奈川県 | 横浜市 | 川崎市 | 千葉市 | さいたま市 | 相模原市

九都県市 

風しんとは？

風しんは、発熱や発しん、リンパの腫れを特徴とする感染症で、「三日ばしか」とも呼ばれています。

咳やくしゃみなどで飛び散るしぶきで感染し、感染力はインフルエンザの2～4倍とされています。

そのため、職場や電車の中で、知らず知らずのうちに、うつる（うつしてしまう）危険性があります。

風しんの怖さをご存知ですか？

妊娠初期の女性が感染すると、お腹の赤ちゃんに難聴や心疾患など、先天性の病気（先天性風しん症候群）を引き起こすおそれがあります。

風しんは、予防接種で防ぐことのできる病気です！

予防接種と抗体検査には **費用助成制度** があります

予防接種を受ける前に、風しんの免疫（抗体）の有無を調べる（抗体検査）ができます。

検査の結果、免疫（抗体）が十分でない方は、予防接種を検討してください。

神奈川県には、無料抗体検査や予防接種費用の助成制度があります。

対象者や自己負担額はお住まいの市町村により異なるので、県のホームページやお住まいの市町村の予防接種担当窓口でご確認ください。

風しん予防推進協力法人 にぜひ登録を！

従業員やその家族の健康を守るためにも、予防接種や抗体検査を受けやすい環境づくりを進めるなど、法人や団体の皆様の積極的な風しん対策をお願いします。

神奈川県では、県と連携して風しん予防に取り組む法人等を「風しん予防推進協力法人」として登録する制度を設けています。ぜひ登録をお願いします。

問合せ先

神奈川県健康危機管理課 感染症対策グループ

電話 (045) 210-4791・4793

神奈川県 風しん

検索

